

科目名	英語科指導法 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	本田 隆裕			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標] 伝統的教授法の問題点を理解し、これからの英語教育に何が必要かを理解する。また、学習指導要領における外国語教育の目標と指導内容について学ぶ。これらの学習を通して、課題意識を持って授業を組み立てる態度を養う。</p> <p>[授業概要] これまで行われてきた日本の英語教育のどこが問題なのかということについて理解を深めていく。まず、今までの知識・経験だけで短時間の模擬授業を行い、自分が持っている英語教育観を見つめ直す。その後、4技能(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」)のそれぞれの指導の注意点と中学校及び高等学校の学習指導要領における外国語教育の目標・指導内容を確認する。さらに、テキストに沿って伝統的教授法の問題点を講義とディスカッションを通して理解し、それに代わる指導法を学ぶ。これらの学習と授業担当教員による実演の体験後、もう一度模擬授業を計画・実施することにより、目指す授業像を確立する。2回目の模擬授業では、4技能のうち、グループごとに各技能に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、授業実践及び授業観察により、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。 中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 英語教員の役割、英語教育観と第二言語習得研究、模擬授業(1)の準備 2. 模擬授業(1) 3. 模擬授業の(1)と自分の英語教育観の振り返り、4技能の指導の注意点、学習指導要領(中学校・高等学校外国語科の目標と指導内容) 4. 伝統的教授法の問題点とコミュニケーション言語教授法 5. タスク中心教授法の理論的背景とその課題 6. 英語の音声指導・文字指導、英語の語彙・表現・文法の指導 7. 小テスト、指導法のワークショップ、 8. 授業の構成、指導手順、指導案の書き方 9. これまでの復習と模擬授業(2)の準備 10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ) 11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ) 12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ) 13. 模擬授業(2)の反省、まとめ</p>				

科目名	英語科指導法 I	前期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	本田 隆裕			
<p>[成績評価方法] 模擬授業 (20%)、小テスト (20%)、学習指導案 (15%)、授業での取り組み (授業中のディスカッションへの参加) (20%)、レポート (25%)</p> <p>[課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法] 小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[オフィスアワー (質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 英米1-2 / 英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。 成績評価方法: 小テスト</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 英米1-3 / 日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。 成績評価方法: 小テスト、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 英米2-2 / 英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。 成績評価方法: 模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み (授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 英米2-3 / 日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。 成績評価方法: 模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み (授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 英米3-3 / 対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。 成績評価方法: 模擬授業、授業での取り組み (授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 責任感 / 社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み (授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 協働性 / 立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する (協働する) 能力・姿勢 成績評価方法: 模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み (授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 表現力 / 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み (授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 論理的思考力 / 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 問題発見力 / 現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 著者名: 和泉伸一 出版社: 大修館書店 (978-4-469-24547-9)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名: 文部科学省 出版社: 開隆堂出版 (4304051695) 高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編 著者名: 文部科学省 出版社: 開隆堂出版 (4304051784)</p>				